

コメント抜粋【参加学生】

問1 インターンシップを経験したことによって、あなたの意識はどのように変わりましたか？

「その他」を回答された方、具体的に記入してください。

- ・自分にとって働くこと・生きることを考えるようになった。(サービス業・大学3年生)
- ・自分の勉強不足、身の回りのことに対する疑問を持っていないことに気がついた。(学術研究・専門・技術サービス業・大学2年生)
- ・実際に志望先としていたので、普段見えない部分の業務を体験させていただき、ギャップを埋めることが出来た。(公務・大学3年生)
- ・島根県で実際に働くイメージを持つことが出来た。(複合サービス事業・大学3年生)

問3 受入事業所について、印象は変化しましたか？

参加前より良くなった

- ・今までは客として表から入って楽しんでいたが、裏から入りその楽しさの源を見ることが出来たため。(卸売業、小売業・大学3年生)
- ・働く環境を実際に体感してみると、社員の皆さんがやりがいを持って仕事をされていることが分かったため。(サービス業・大学3年生)
- ・職員のみならず全員暖かく接してくださり、質問にも快く応じてくださったため。また、職務に向き合う姿勢が非常に誠実で、いきいきと働いておられたため。(公務・大学2年生)
- ・様々な業務をさせていただくことで、以前まで漠然としていたイメージがよりはっきりしたものになったため。(複合サービス事業・大学2年生)
- ・地域に密接に関わっていることは知っていたが、思っていた以上に地域の方と距離が近く深い信頼関係の元で事業が成り立っていることが分かったため。(複合サービス事業・大学3年生)
- ・3日間朝礼と一緒に参加させていただきました。その朝礼では、社員の方全員と握手をして挨拶をしたり、笑う練習をするなど、一人一人が声を出して全員とコミュニケーションを取る取り組みをしていました。経営方針書に基づき、働いておられる皆様が全員同じ目標に向かって日々活動されていることがわかり、非常に魅力的な職場であると感じたため。(サービス業・大学2年生)
- ・働く環境が魅力的だと感じていたが、働いておられる方々に実際に話を聞くと、とにかく楽しそうに仕事しておられたり、今の環境に満足していると聞いてより魅力的な会社だと思ったため。(建設業・大学2年生)

参加前と変わらない

- ・会社の内容を知る機会はありません、グループワークばかりだったため。(製造業・大学3年生)
- ・想像していた業務と実際やった業務が共通していたため。(公務・大学3年生)

問4 1番学びの多かった体験内容は何ですか？

- ・「新規顧客のための企画立案」が1番学びの多かった体験でした。その理由としては、実際のお客様に対して実現可能な企画を考えさせていただき、普段の学校生活では体験できないことが体験できたからです。金銭面の計算など、細かいところまで企画を詰めて考えることができました。(情報通信業・大学1年生)
- ・ホテルの仕事は今までやったことがなかったのでどれも新鮮でしたが、特にベットのメイクや食器拭きなどの裏方の業務を実際にする事で、想像していた業界の知らなかった部分を見られていい経験になりました。(宿泊業、飲食サービス業・大学3年生)
- ・営業といわれても具体的にどんなことをするのか分かっていなかったが、同行の中で実際に現場を見せていただき、どのように契約が結ばれるのかもよく分かったため。(複合サービス事業・大学2年生)
- ・求人広告の作成。求人の作り方を教えてもらい、自分で作ってみると、情報を細かく記載しないとダメだったり、相手に伝わりやすい表記にしないとダメだったり、気を配ることがたくさんあると思った。また、この内容を社員の方にインタビューして必要な情報を聞かないとダメだったので、自分がわからないことは積極的に聞くという経験ができたから。(サービス業・大学2年生)
- ・実際にお客様に企画を提案したこと。今まで経験したことがなかったので非常に貴重な体験だった。仕事の厳しさをリアルに実感した。(情報通信業・大学3年生)
- ・実際の旅館の事務作業体験。自分が将来就きたいと思っている事務の仕事が体験でき、その際に自分が今持っているスキルを活用することも出来たから。(宿泊業、飲食サービス業・大学1年生)
- ・農作業を通して生産性について考えたこと。これまで「生産性」という言葉は知っていたものの、本当の意味を知らなかった。農作業を通して何を・どのように工夫すれば生産性が上がるのかについて考える機会があったことが自分にとって貴重なと感じたから。(サービス業・大学3年生)
- ・派遣登録者の方の面接同行です。会社概要と派遣法律の説明をさせていただき機会があり、相手に上手く伝えるスキルも身に付きましたし、面接官の方の、相手の適正を引き出す上手な質問を見て、「私もこんな風に上手く話せるようになりたい」と思ったから。(サービス業・大学1年生)
- ・本の企画。本が企画から出版されるまでの経緯を知ることができたし、どんな本をつくれれば社会的課題を発信できることにつながるのかまで考えることが出来たから。(製造業・大学3年生)

コメント抜粋【参加学生】

問5 インターンシップに参加する前と後で、島根県内での就職への関心はどうなりましたか？

関心度が上がった回答

- ・もともと県外での就職も考えた上で応募したインターンシップだったが、島根で働くことが地域を思うことでもあるのだと自分の中で納得することができたため。(製造業・大学3年生)
- ・島根には地域を盛り上げたいという熱い思いを持った人がたくさんいるし、刺激をもらえるから。(製造業・大学3年生)
- ・もともと県内で就職したいという思いはあったので、その思いが強まった。名前があまり知られていなくても素晴らしい会社がたくさんあると思ったから。(サービス業・大学2年生)
- ・地域にどんどん出ていって活動し、その場で新たな可能性が生まれているのを身近に感じることができたため。(製造業・大学1年生)
- ・生まれ育った地元で働くことの喜びとやりがいを再確認することができたため。(公務・大学3年生)
- ・島根県にある企業には、島根の魅力を引き出したり、価値を創造したりすることに熱意のある人々が働いており、この地で共に地域のために働きたいと感じたため。(製造業・大学3年生)
- ・島根は就職先も少なく決まったような企業しかない印象だったが、実際に動く事で決まりきった似たような仕事だけではなく、人の役に立てる仕事も多いと気づき関心度は高くなった。(サービス業・大学3年生)

問7-2 インターンシップ体験の満足度はいかがでしたか？

満足

- ・3日間を通して、様々な部門の体験をさせていただけたことに非常に満足しています。それぞれどんなことをしている部門であるかは事前学習で知ってはいましたが、現場に行って体験すると新しい発見が沢山ありました。また、このインターンシップで特に満足している点は、社内の雰囲気を知ることができたという点です。社長、社員を呼ぶときは役職ではなく名前で呼んだり、持ち物、社内の道具全てに名前が書いてあったり、全員が気持ち良く過ごせるような工夫を積極的にされていました。仕事内容だけではなく、会社の雰囲気も掴むことができ、非常にいい体験になったと感じています。(サービス業・大学2年生)
- ・5日間を通して「働くとは何か」「どう生きていきたいか」について考え続け、今の自分の思いをしっかりと言語化出来たことが、このインターンでの一番の収穫であると感じている。また、農作業を通して生産性について考える、教育について考えるセミナーへ参加する、問題解決の手法を学ぶなどの体験や、事業所で出会った人たちと様々な話をすることで、毎日多くの気付き、学びを得ることが出来た。たったの「5日間」であったが、今後の働き方に大きく影響を及ぼす大切な「5日間」だったと感じている。(サービス業・大学3年生)
- ・インターンシップに参加することで、「仕事」に対する意識がより強くなり、働くために必要なスキルを今から身につけていきたいと思うようになりました。そして、こういった意識の変化を起こせたことが参加して良かったと思う1番の理由です。(学術研究・専門・技術サービス業・大学1年生)
- ・一般的な就業体験ではなく、働くことは何かを考えさせられるインターンシップでした。どの業界に就職するか、自分は何をしたいのかを悩んでいたの、就活前に参加することができて良かったです。(サービス業・大学3年生)
- ・気になっていた企業でインターンシップをしたことで、その企業について詳しく知る事ができました。また、その企業に就きたいという気持ちが強くなり、就職活動につなげることができたと考えています。(生活関連サービス業、娯楽大学1年生)
- ・建設業の大変さを感じることができた。自分に合っているか、自分が望んでいる環境なのか考え、自分に適しているか適していないのか知ることが出来た。インターンシップの経験を踏まえて会社選びを考えていきたいと思った。(建設業・大学2年生)
- ・今回のインターンシップでは、自分がほんとうにやりたかったことを明確にすることができた。それは、企業を知るの前に、自己を見つめることで得られたものだと思う。また、本を実際に企画し、実現させるところまで本気で考えた5日間だったので、この学びを今後に繋げたい。(製造業・大学3年生)
- ・事前学習をどれだけ積んでも、企業のことを知るにはインターンに勝るものはない。経験して雰囲気を知り、現場に入り込むことで初めて見えてくるものが多かった。情報発信に得意でない企業であれば特にそれは如実に表れる。そのことを強く実感した今回のインターンだった。(製造業・大学2年生)
- ・実際に、ホームページでは分からない、職場の雰囲気や仕事内容が学べるので、いい意味でキラキラしただけではないのだと学ぶことができた。(サービス業・大学2年生)

やや満足

- ・もっと積極的に自分から企業の方とインターンシップを有意義なものにしていくべきだったと思う。内容自体は非常に勉強になることばかりだったので、もっと前のめりになるくらいに積極的な姿勢で臨めばよかったと思う。(サービス業・大学3年生)

アンケートコメント抜粋【受入事業所】

問5 学生の実習態度について、具体的にご入力ください。

あいさつや身だしなみなど社会常識もしっかり備えており、積極的な姿勢も好感が持てた。(公務)

わからないことを積極的に質問し、理解しようとする姿勢が見られました。緊張していたせいか、少し声が小さかったですが、礼儀正しく、好印象でした。もう少し元気があるとより良いと思いました。(製造業)

指導・助言したことをしっかり課題解決の材料に活かそうとする姿勢がみられ、指導する社員にもやりがいが出ました。また、実習時間後にも次の日の準備をすすめてくるなどの、非常に積極的な姿勢が見られました。(サービス業)

積極的に質問をしてくれることが多く、意欲の高さを感じました。座談会や講和・昼休憩中など社員と円滑にコミュニケーションをとることができており、とてもよかったです。(サービス業)

非常に積極的で、自分が聞きたいこと、知りたいことについて意欲的に質問し、今後の就職活動に役立つ情報収集を行っていた。(製造業)

礼儀たたく、自ら挨拶もしていらっしゃいました。実習時、とても意欲的であり疑問に思われた事はすぐにスタッフに聞いておられました。

(宿泊業、飲食サービス業)

問6 貴事業所にとって、今回のインターンシップ受入はいかがでしたか？

・今回は「地域で働く」という点を主眼にしていた学生が多かったため、当社のプログラムと学生のニーズがとてもマッチしていました。地域課題を解決したいという動機から、実現可能なレベルの企画を立案した学生もあり、大変驚いてもいます。プログラムの最中から学生の成長を感じてはいましたが、最終日に「メッチャ成長した気がする！」と言ってくれたのはうれしく思いました。「地域で働く意義を伝えること」と「学生の学び」を両立させることが、インターンシップを企業と学生がお互いに有意義なものにするために、必要なことだろうと気づきました。(製造業)

・初めてのインターンシップの受け入れでしたが、社員全員が自身の仕事の価値や魅力を振り返る機会になり、かつ学生の意欲的な姿勢を目の当たりにして大変刺激をうけるなど、社員満足度が非常に高かったです。今後、新卒採用を行っていく上でのヒントや課題なども見つけたり大変有意義な時間だったため、次回以降も積極的にインターンシップの受け入れをしていきたいという方針になりました。(サービス業)

・全く基礎知識のない方に一から指導するという機会は普段あまりなく、指導担当者も言葉を選びながら噛み砕いて説明するよう注意していました。当社の社員にとってもよい経験になったと思います。学生にとって魅力的な仕事・職場だったかは不明ですが、まず知ってもらう機会を得ただけでもありがたいと思いました。(建設業)